

脳血管障害先端医療寄附講座



1. スタッフ

特任教授 なかじま まこと
中島 誠

特任助教 しんどう せいご
進藤 誠悟

2. 講座の特徴、診療内容

脳血管障害は、脳神経内科の中でも最も患者数の多い疾患群である。近年、脳梗塞に対する血管内治療の有効性が証明され、急性期治療は大きく変革しつつある。しかしその早期診断や治療について解決すべき問題点は多く、いまだ認知症や寝たきりの最大の原因である国民病でもある。脳血管障害は循環器学、血液凝固学、神経症候学、神経心理学、神経病理学、放射線医学、分子遺伝学、リハビリテーション医学、社会保健医学などにまたがる包括的知識と幅広い医療技術が求められる。このような疾患の克服には、多くの難治性脳血管障害や遺伝性血管障害の研究、教育及び治療の先導的役割を担いつつ、発想力、探究心をもって先端医療の研究開発及び診療への応用を図ることが求められる。

本寄附講座の教育・研究領域は、①脳血管障害の病態解析、②最先端の治療研究、③リハビリテーションを主体としたケアである。最先端医療研究の臨床医療への応用を実現すべく、診療・研究・教育を、脳神経内科学分野と連携の上実施している。

3. 診療体制・診療実績

現在、脳神経内科医師の協力の下、主にSCU、HCU、西病棟9階にて診療を行っている。また脳神経外科や関連病院の医師との連携により、血管内治療を含む急性期脳血管疾患の治療にあたっている。

血栓回収療法については、熊本県全域の基幹施設から対象症例を専門施設に振り分けるため、K-EARTHプロジェクトのホットライン対応を行っている。当院としての機械的血栓回収療法は、年間20件前後を維持しており、2021年度21件、2022年18例、2023年度23件であった。また脳血管障害を中心とした脳神経内科としての院内救急対応は年々増加しており、院内発症の主幹動脈閉塞脳梗塞症例に対しては、7件の血栓回収療法を行った。

リアルタイム情報共有システムとして院内に導入された医療用アプリJoin®やタスカル®を、チーム内の緊急連絡や画像共有ツールとして、日夜活用している。

脳血管チーム内科医師と看護師とのカンファレンス、および脳神経外科との症例検討会は、それぞれ週1回実施して、診断や治療についての検討と、緊急治療の振り返りを行っている。循環器科とのブレイン・ハートカンファレンスも適宜行っている。

外来においては、脳血管障害患者のフォローアップや他施設・他科から紹介のあった難治性脳血管疾患患者を積極的に受け入れている。また頸動脈狭窄症や症候性頸動脈病変の患者については、脳血管造影検査、頸部血管エコー検査等の精査を行い、脳神経外科と協議して治療方針を検討している。

また、脳卒中の重要な合併症の1つであるてんかんについては、てんかん専門医を取得した松原助教が中心となり、新たな診療体制を進めている。脳神経外科や中央検査部（生理検査室）と連携して、長時間ビデオ脳波モニタリング検査等により、積極的かつ適切な診断・治療を行う体制を構築している。

4. 高度先進的な医療の取組

1. 悪性疾患合併脳卒中の病態と治療に関する研究
2. 熊本県機械的血栓回収療法レジストリ研究
3. CADASIL等の遺伝性脳小血管障害の病態解明
4. 熊本血栓回収療法地域格差解消プロジェクト
[Kumamoto Eliminating Regional Thrombectomy disparity (K-EARTH)]による診療体制構築
特にK-EARTHプロジェクトの取り組みは、医療資源寡少地域において脳卒中診療を支える手法として、全国的に注目されている。

5. 研究活動

上記以外に、国内多施設前向き研究「急性期脳卒中におけるてんかん原生の解明」や、新たな血栓溶解薬に関する医師主導型臨床試験、抗血小板薬や脳卒中診療体制に関する研究など、複数の多施設研究に参加している。

6. 医療人教育の取組

脳神経内科学系統講義にて、脳血管障害の診断と治療に関する総論・各論を担当している。臨床実習ではポリクリ、クリニカル・クラークシップにて臨床指導を行っている。大学院教育では、博士課程院生に研究指導を行っている。卒後研修では、日本神経学会認定施設として、様々な脳血管疾患に関して指導し、積極的な学会発表や論文執筆を勧めている。

また本年度には、急性期脳梗塞診療に関する院内多職種勉強会を行った。

7. 地域医療への貢献

県内の施設との間では、テレメディシスを利用した画像共有や連携により、超急性期脳卒中患者の診断・治療によるアドバイスや、患者搬送の適応判断を行っている。特に前述のK-EARTHプロジェクトについては、県内の基幹施設から血栓回収療法の適応症例を、関連施設と協力して血栓回収療法を専門医が迅速に行う仕組みを構築し、県内各施設に浸透している。